



ふれあい

編集発行

社会福祉法人 京極町社会福祉協議会

〒044-0121北海道虻田郡京極町字三崎68番地

TEL(0136)42-3681 FAX(0136)41-2031

Eメールアドレス

kyogoku-fukushi@blue.ocn.ne.jp

ホームページアドレス

<http://www.shakyo.or.jp/hp/63/>

この広報は赤い羽根共同募金の助成金で印刷されています。

京極町社会福祉協議会理念

1. 私たちは、住み慣れた地域でその人らしく暮らすことができるよう最善をつくします。
2. 私たちは、福祉活動に参加する住民主体による福祉コミュニティづくりをめざします。
3. 私たちは、自らの組織や事業に関する説明責任を果たし、
信頼され開かれた社協づくりをすすめます。



京極町社会福祉協議会では、定期的に苦情委員会を開催しています。活動や運営、福祉センターの管理についてご意見ご感想をお聞かせください。些細なことでも構いませんので福祉センター玄関ホールに置いていますご意見箱に投函ください。(用紙は玄関ホールに用意していますが、どのような紙でも結構です。)

社会福祉法人 京極町社会福祉協議会

平成二十九年度 事業計画

●重点目標

「地域の力を信じ、住民の力を活かした地域づくりに貢献しよう」
1. 法人運営の基盤強化

2. ボランティア・小地域ネットワークの推進

3. 共生型地域福祉拠点の運営

●重点目標に向けた取り組み

1. に関して

(1) 社会福祉法人改革による新体制の始動

① 社会福祉法人改革による新体制の始動

② 理事会は業務執行に関する意思決定機関として機能する

③ 法人の業務を執行する理事として、業務執行理事を選任する

(2) 人材育成、確保、定着

① 退職給与と規定の見直し ② キャリアパス構築のための検討

③ 教育・研修事業・職員所内研修の企画実施(研修委員会)

2. に関して

(1) ボランティアセンターの充実

① ボランティア養成講座の実施 ② ボランティア通信の発行

③ 運営委員会の開催

④ 介護支援元氣ポイントの活用(総合事業)

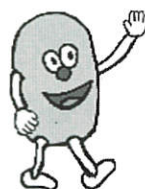
⑤ 共生型地域福祉拠点の運営に合わせたボランティアコーディネート

(2) サロン活動およびつどいの場(総合事業)の推進

① ふまねつとサロン、ニュースポーツサロン、寺子屋サロンの運営支援

② 地域分析に基づいた新たな住民主体のサロンの立上げ支援

③ 介護予防主体のつどいの場推進の協力



平成29年度収支予算

【収入の部】

科 目	予算額(円)
会 費 収 入	1,300,000
寄 付 金 収 入	1,000,000
補 助 金 収 入	35,884,000
受 託 金 収 入	86,863,000
事 業 収 入	2,620,000
貸 付 事 業 等 収 入	700,000
介 護 保 険 収 入	42,207,000
受 取 利 息 配 当 金 収 入	112,000
積 立 預 金 取 崩 収 入	4,406,000
収 入 合 計	175,092,000

【支出の部】

科 目	予算額(円)
人 件 費	123,845,000
事 業 費	9,398,000
事 務 費	31,090,000
貸 付 事 業 支 出	800,000
共 同 募 金 配 分 金 事 業 費	2,317,000
助 成 金 支 出	80,000
負 担 金 支 出	214,000
ファイナンスリース債務の返済支出	711,000
積 立 資 産 支 出	6,587,000
予 備 費	50,000
支 出 合 計	175,092,000

●その他の取り組み

3. に関して

(1) 住民による自主運営化の推進

① 3カ年計画の遂行(1年目)

(2) コミュニティカフェの運営

① 常時の開設

② 住民企画の実施

(3) 支え合い本部等での検討

① 支え合い本部等での検討

② 試行的な取り組み

(4) 運営資金、管理体制の確保

① 共同募金等の助成金活用

② 運営要綱、管理規則の試行

③ 会員制度の検討

○ 団体活動の支援

(共楽クラブ・身障協会・母子寡婦会・ヘルパーSUNの会)

○ 「ふれあい広場」ほかほかまつり」の開催

○ 愛情資金、奨学資金等の生活支援事業の実施

○ 福祉センター・コミュニティセンターの管理運営

○ 移送・配食・電話・除雪サービスの実施

○ 緊急通報システム設置事業

○ 除雪ボランティアイベントの開催



平成28年度 決算報告

【貸借対照表】

(平成29年3月31日現在)

資産の部		負債の部	
	当年度末		当年度末
流動資産	10,766,077	流動負債	10,343,771
現金	102,680	未払金	5,667,789
預貯金	1,489,808	1年以内返済予定	709,632
未収金	9,173,589	預り金	1,378,615
前払金	0	仮受金	2,587,735
仮払金	0		
固定資産	83,678,862	固定負債	36,941,781
基本財産	1,591,613	リース債務	49,131
定期預金	1,591,613	退職給与引当金	36,892,650
その他の固定資産	74,631,900		
土地	3,000,000		
建物	14,713,131		
機械及び装置	2		
車輛運搬具	3		
器具及び備品	1,724,272		
無形リース資産	728,001		
退職給付引当資産	37,288,807		
その他の積立金	23,493,872		
福祉基金	1,885,438		
愛情資金積立金	6,590,252		
奨学基金積立金	10,509,448		
未来へつなぐ夢基金	4,508,734		
愛情資金貸付金	1,139,161		
資産の部合計	94,444,939	負債及び純資産の部合計	94,444,939

(単位:円)

【資金収支決算】

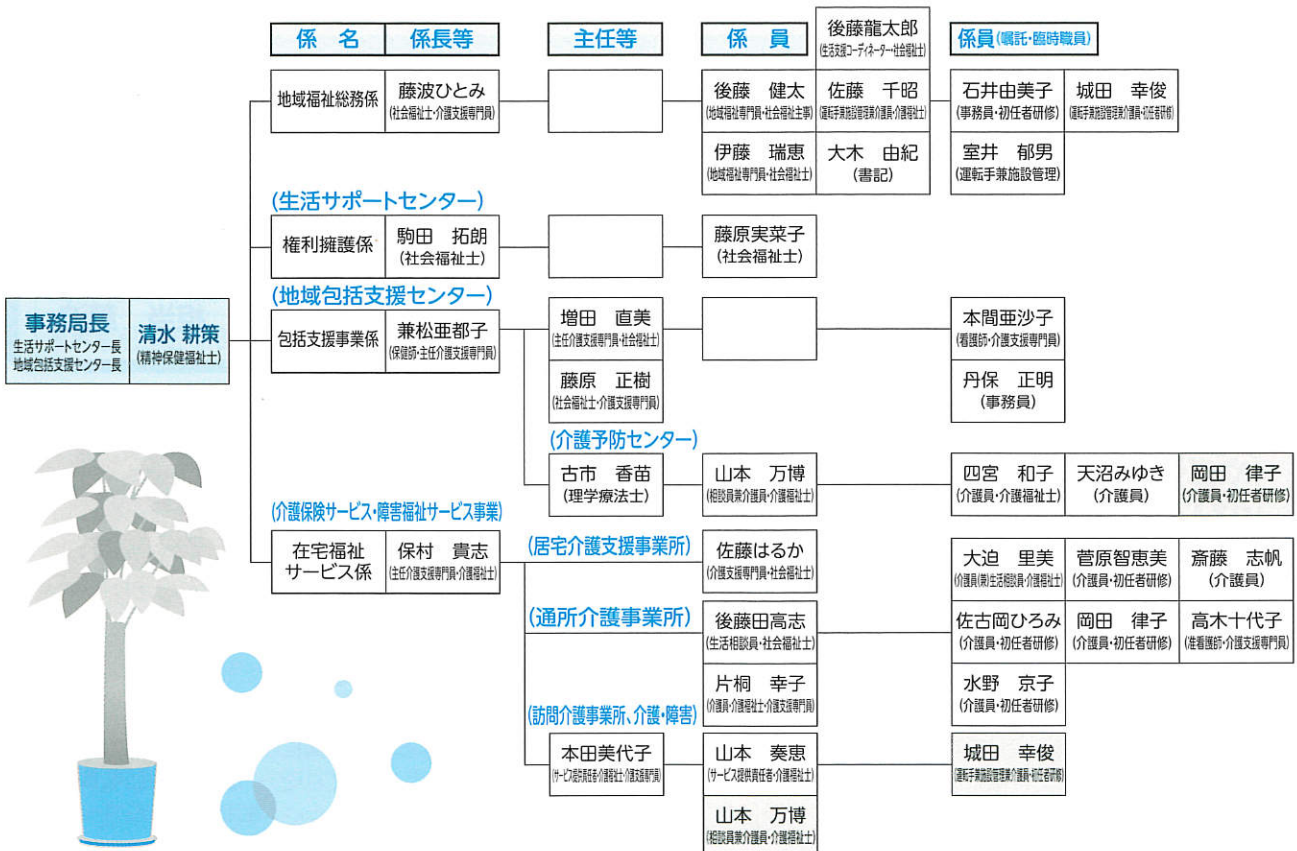
収入の部	決算額
会費収入	1,110,500
寄付金収入	1,616,969
補助金収入	33,619,454
受託金収入	79,752,015
貸付事業等収入	91,000
事業収入	1,291,390
介護保険収入	43,667,701
受取利息配当金収入	1,838
積立資産取崩収入	15,432,667
その他の活動による収入	127,790
施設整備等補助金収入	5,750,000
前期末支払資金残高	5,162,665
収入合計①	187,623,989

支出の部	決算額
人件費支出	118,910,246
事業費支出	11,416,550
事務費支出	27,783,163
貸付事業支出	30,000
共同募金配分金事業費	2,416,906
助成金支出	70,000
負担金支出	222,000
支払利息支出	24,407
固定資産取得支出	13,890,592
ファイナンスリース債務の返済支出	685,225
積立預金積立支出	11,042,962
支出合計②	186,492,051

繰越金① - ②	1,131,938
-----------------	------------------

(単位:円)

平成29年度京極町社会福祉協議会 職員体制



28年度賛助・一般会員報告

【期間:平成28年4月～平成29年3月】

今年度も町民の皆様の温かい御厚志に対して厚くお礼申し上げます。
ボランティア・市民活動、小地域活動などの事業や、在宅福祉サービス事業などへ活用します。

◎一般会費【町内世帯】 計1,135戸

◎賛助会員【個人】

(敬称略)

松長 正憲	阿部 鋭右	富成 邦彦	横川 広	大場美智子
西方 清徳	竹浪クニ子	畠田 英利	藤沢 玲子	山田 雅
石井 静男	安藤 博	笹原 満雄	佐藤 恭子	佐藤 明
阿部 尚泰	中村美智子	堅田英美子	池元 豊	柳原 保
堅田 光良	大清水昭子	小林 一男	久保 英雄	篠原 政彦
有末 義美	長谷川 敦	鳩沢 秀子	柴山 悟	※他匿名者多数
熊谷 哲雄	渡部 安夫	古館 祐子	末吉 光恵	
片田 幸夫	西尾不二子	坂本 秋広	山中 艶子	
船場 実	中村 恒男	辻 征二	長壁千代子	

◎賛助会員【法人・団体】

(敬称略)

JAようてい京極支所	有限会社 赤木農産	菊地歯科医院	宗教法人 龍門寺	役場課長親睦会
株式会社 京極産業	株式会社 中村組	(有)ミートショップ あんぼ	宗教法人 瑞法寺	有限会社 鎌田商店
株式会社 桜組	京極町商工会	京極町羊峰会	(有)ヤマトモリ	有限会社 京極石油
株式会社 鈴木商事	ようてい森林組合	有限会社 藤沢デンキ	有限会社 マルダイ大木金物	久保碎石工業株式会社
株式会社 高瀬製作所	川崎建設株式会社	宗教法人 北神分教会	有限会社 古屋建設	計32件
株式会社 道南富士コン	菊地建設鋳業株式会社	宗教法人 光寿寺	北海信用金庫京極支店	
株式会社 富成商店	京極建設株式会社	宗教法人 広徳寺	松浦建設株式会社	

京極町社協の活動を応援してください ～賛助会員の募集～

京極町社会福祉協議会では、活動に協力していただける賛助会員を募集しています。
みなさまから頂いた賛助会費は、京極町の福祉サービスを推進する貴重な財源として、様々な事業に役立っています。京極町社協の活動に賛同いただける方につきましては、ぜひともご協力をよろしくお願い致します。

会費 一口…1,000円

問い合わせ先 ☎0136-42-3681
京極町社会福祉協議会事務局 担当 藤波

新人職員紹介

今年の4月から京極町社会福祉協議会の職員(生活支援コーディネーター)として勤務しております後藤龍太郎です。橋本龍太郎元総理大臣と同じ名前です。出身は、生まれが函館で育ちが小樽の浜育ちです。海のように広い心と羊蹄山のように高い志を持った男になっていけるよう日々精進いたします!社会福祉協議会の職員の中に同じ苗字の後藤さん、そして後藤田さんがいるので、私のことは「龍太郎」で覚えてくださると幸いです。

まだ京極町に来て、2か月ほどなのでわからないことばかりです。皆さんから京極町のいろいろなことを教えていただいたり、学ばせていただければ嬉しいです。

好きな言葉は「一期一会」です。その時・その日に出会った人との時間を大切にできる社協職員になって、皆さんと一緒に京極町をより良いまちにしていきたいと考えております!

至らない部分も多々あるかと思いますが、どうぞよろしくお願い致します。



ごとうりゅうたろう
後藤龍太郎
生活支援コーディネーター

京極町地域包括支援センター

平成28年度事業報告
平成29年度事業計画

地域包括ケアシステム構築に向け各機関と協働し、生活支援サービスの体制整備に取り組みます

『地域包括ケアシステム』とは、『高齢者が住み慣れた地域で、尊厳ある生活を可能な限り継続できる体制』のことです。

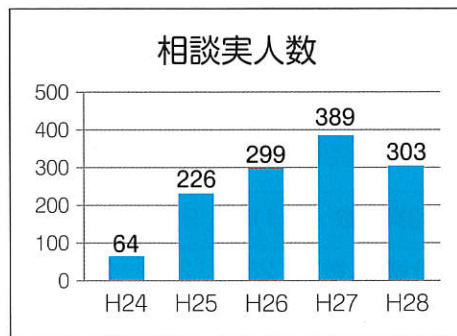


1. 支えあい本部、総合事業を通じた地域づくりに積極的に参画します。
 - ①生活支援コーディネーターに協力し、多様な生活支援サービスの構築に向け取り組みます。
 - ②町、社協、介護予防センターと共に、住民主体の通いの場の充実を目指します。
 - ③介護予防手帳を有効に活用し、介護予防ケアマネジメントの質向上を図ります。
2. 地域ケア会議をより一層充実していきます。
 - ①地域ケア個別会議によるケアマネ支援の充実、地域課題の発見、地域とのネットワーク構築を図っていきます。
 - ②京極町保健医療福祉介護連携協議会の有する5つの機能を充実させるため、町と共に地域ケア推進会議、管理者会議の機能向上をめざします。
3. 認知症にやさしいまちづくりを推進していきます。
 - ①どんぐりカフェ（認知症カフェ）を行政、居宅介護支援事業所と定期開催し軌道に乗せます。
 - ②町内のキャラバンメイトで、認知症サポーター養成講座を活発に開催します。
 - ③徘徊模擬訓練を継続し、あんしんネットワークの体制整備を行います。
 - ④認知症初期集中支援チームの一員として、初期集中支援を行います。

～昨年度の主な活動～

1. 高齢者の相談状況

内 容	相談実人員	相談延人数
総合的な相談	115名	557名
介護保険、総合事業に関すること	147名	147名
権利擁護、成年後見制度に関すること	1名	1名
高齢者虐待に関すること	5名	15名
高齢者把握訪問(80歳到来者と高齢家族)	35名	35名
計	303名	755名



2. 認知症関連

- ・認知症に関する相談 20名対応
- ・認知症サポーター養成講座 5回開催 (99名養成) 町のサポーター実339名、延456名に
- ・あんしんネットワーク模擬訓練 100名参加
- ・どんぐりカフェ（認知症カフェ）3月から月1回頻度でスタート

3. そのほか

- ・地域ケア個別会議 9名の方について全14回 開催
- ・虐待対応関連会議 4名の方について全12回 開催
- ・地域包括ケア勉強会「ひろげよう支えあいのまちづくり」11月9日開催 75名参加
- ・支えあいステーション担い手勉強会 3月29日開催 町民43名参加
- ・支えあいステーションコーディネーター研修会 3月30日開催 関係者17名参加



居宅介護支援事業所



平成28年度事業報告書

- 1 本人、ご家族が自宅での支援を希望される際、支援範囲の拡大に備えた体制作りを目指す。
- 2 関係事業所との連携を図り、介護支援専門員としての資質向上を目指す。

1について地域包括ケアの整備に伴って京極で生活を希望される方の支援体制の整備については地域包括ケアの推進に伴って徐々に整備されている。京極町、地域包括センターを中心として支援体制が整備されている。施設入所については平成27年の制度改定以降から入所される方が減少となっているが、介護度が重度化とならなければ入所とならない制度となっている。

2について。町内の事業所との連携については地域ケア会議、医療介護連携会議、町内に住む町民の方の必要時の情報交換を行う事が出来ている。また、町外事業所の連携、個々の資質向上については、各研修会を通じて介護支援専門員としての資質向上に努めている。認知症カフェへのお手伝いを行い認知症高齢者の普及活動に努めている。

平成29年度事業計画書

- 1 本人、ご家族が自宅での支援を希望される方のケアマネジメントの実施。
- 2 関係事業所との連携を図り、地域包括ケア推進のために協力できることを行う。

訪問介護事業所

平成28年度の事業報告

訪問介護事業所では、要介護利用者28名の方にサービスを提供し、延べ296名利用されました。サービス内容は、生活援助（買物代行、調理、掃除等）・身体介護（付き添いが必要な通院や家庭での入浴、排せつ介助等）・通院等乗降介助（付き添いまではいないが車の乗り降りが困難な方）のサービスに分かれています。特に身体介護の利用回数が延べ712回と、前年よりも47回増えていますが、今後も高齢に伴い増加傾向にあると考えています。



利用実人数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
訪問介護(人数)	28	24	24	24	26	22	27	27	25	24	24	21	296
サービス内容(回数)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
身体介護	72	60	63	60	55	56	69	60	59	57	54	47	712
生活援助	20	16	11	8	13	16	17	15	23	19	22	18	198
身体+生活	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
通院等乗降	18	20	26	20	22	22	32	32	20	22	6	18	258

平成29年度の事業計画

今年度も、自立支援を目標に介護保険上の適切な訪問介護サービスの提供と、住み慣れた地域で生活ができるようにヘルパー3名体制で支援を行います。(本田・山本・城田)

京極町生活サポートセンター

身近な法律行為について 知っていますか？ シリーズ



part 1 不動産処分について

Q 親が施設に入所しました。親名義の住宅を売買するにはどんな手続きが必要でしょうか？

A 親御さん(所有者)本人が手続き・契約において認知症などで判断能力を失っていた場合、成年後見人の選任が必要です。(また、所有者名義を変更する場合もご本人による手続きが必要ですのでご本人に判断能力がない場合は成年後見人の選任が必要になります。)

後見人が選任されたら、以下の内容が後見人のお仕事になります!!

◎不動産売買についての後見人事務手続きの流れ

①売却する理由の整理

売却する理由を具体的に整理してみましょう。その住宅にはもう戻らない理由を明らかにすることが大切です。(不動産処分申立書への記載が必要になります。)

②相場を知って売却価格の目安を立てる

売却すると決めたら、いくら程度で売れそうかの目安を立てます。まずは、物件の周辺相場を知ることから始めるとよいでしょう。

③購入希望者との交渉

購入希望者が現れたら、売却条件を交渉します。(仲介会社の利用もできますが、本人の財産からの支出について配慮して対応します。)



④不動産処分の申し立て・売買契約

売買条件を合意したら、後見人がついていない場合は、家庭裁判所に不動産処分の申し立てを行います。許可がおりたら、正式に買い主と売買契約を結びます。

⑤引き渡しの際の手続き

引き渡し手続きでは、売買代金を受領すると同時に、登記申請(抵当権抹消、所有権の移転等)を行います。また、引き渡した後の税務申告などの手続きも行います。

◆成年後見制度についてのお問い合わせは

京極町生活サポートセンター TEL.42-3681 駒田、藤原まで



デイサービスだより

平成28年度事業報告

平成28年度利用状況報告

項目	28年度延人数	27年度	前年比
要介護1～5	3,499人	3,652人	-153人
要支援1～2	657人	980人	-323人
合計	4,156人	4,632人	-476人
稼働日数	255日	255日	±0
1日平均	16人	18人	-2人



【平成28年度新規利用者・終了者】

新規利用者

項目	28年度	27年度	前年比
要介護者	9名	12名	-3名
要支援者	2名	2名	±0
合計	11名	14名	-3名

利用終了・休止

項目	28年度	27年度	前年比
合計	15名	5名	+10名

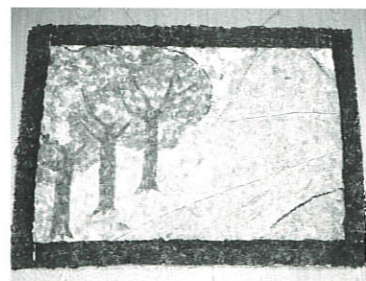
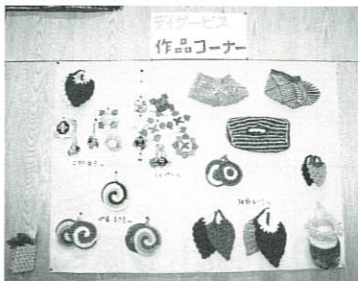
近年は利用者数が減少傾向にあり、28年度は前年度と比較し緩やかな減少となっています。

減少の要因として、長期入院等による利用休止から在宅復帰されないケースの増加、介護予防事業の充実が主なものとして考えられます。

昨年度は人員体制が大幅に入れ替わり、事業内容も段階的に変化させてきました。今年度も徐々に事業内容を変化させつつ、ご利用される方や町の皆さまにとって「わかりやすい」「通う意義のある」デイサービスを目指し、支援のお手伝いを行っていきます。

デイサービス作品展

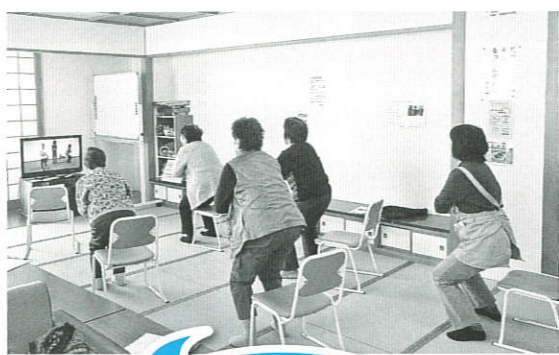
デイサービスでは様々な創作活動を行っています。今回は完成した作品の一部をご紹介します。



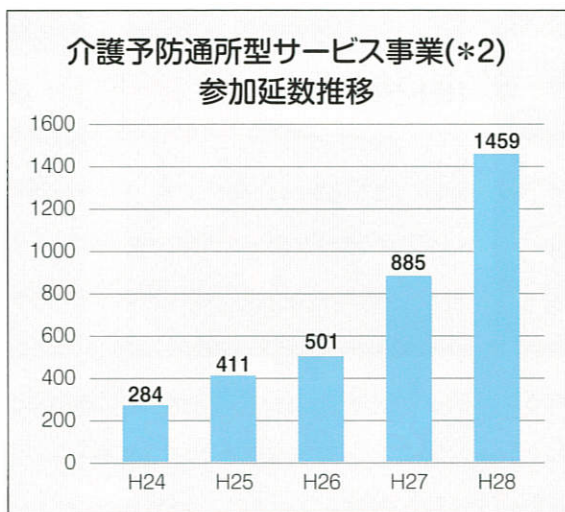
京極町介護予防センター

○平成28年度事業報告

- ① **一般介護予防事業** :住民主体で介護予防に取り組む**つどいの場(*1)**が町内に2か所誕生しました。参加者のみなさんは**ちょこっと体操**を実践し、体力の改善がみられました。また、**介護予防通信**(今年度よりに**こっと通信**)を年4回発行し、町民のみなさんへ介護予防に関する啓発を行ったり、冬期間の運動不足解消に向けて、体育館2階のトレーニング室の機器の使い方を説明する教室を開催しました。**シャキッと会**の参加実数は46名で横ばい状態でした。
- ② **介護予防通所型サービス事業(*2)** :要支援相当または通年で運動が必要な方のため**ミニデイサービスにこっと**、運動機能向上のため**筋力アップ教室**(3か月間×3回)、認知機能維持のため**脳力アップ教室**(5か月間×2回)を開催しました。下のグラフに示した通り、介護予防通所型サービス事業への参加者は年々増加しています。



京極温泉で実施中のつどいの場(*1)の様子
グループ名:かがやけ



○平成29年度事業計画

	ミニデイサービスにこっと	にこっと訪問サービス	シャキッと会	ちょこっと体操 (強化月間・体力測定)
4月				
5月		脳力アップ教室(5か月)		・にこっと通信(春)
6月	(栄養改善月間)			
7月				
8月				・にこっと通信(夏)
9月	(口腔機能月間)		(体力測定月間・6分間歩行テスト)	
10月				(強化月間・体力測定) ほかほか祭り
11月			トレーニング教室	・にこっと通信(秋)
12月	(口腔機能月間)			
1月		筋力アップ教室(3か月)		
2月				・にこっと通信(冬)
3月	(栄養改善月間)		(体力測定月間)	

地域福祉拠点から

4月にオープンしてから、住民の方が発案した企画が次々と実施されています。

イベントのない日も、コーヒーなど飲みながら、おしゃべりや休憩ができる「居場所」としてぜひご利用ください。

(行事日程は毎月発行のイベントカレンダーをご覧ください)

6月から飲み物が有料です

◆コーヒー 200円 ◆ジュース 100円 ◆麦茶 100円

地域福祉拠点イベント

【エコキャップ分別】

4名でキャップを仕分け



【算数教室】

学校の宿題を持ち寄って



【ささえあう輪】

体操で健康づくり



【軽トラ朝マルシェ】

とれたて野菜の販売



【お菓子作り】

コーヒーに合う簡単お菓子は?



【麻雀】

交流を深めよう!



ちょっとした困りごと、みんなでたすけあいしませんか

♥暮らしのささえあいステーション♥

空いている時間内で、何か人のために役立ちたい、前に助けてもらったから、今度は自分が誰かの助けになりたい

そんな思いを少しでも持っている方、ぜひ一緒に活動してみませんか?

草むしり、重い物の移動、掃除や調理などの家事、庭木の手入れ、簡単な修理など、一人暮らしのお年寄りか抱えている、「ちょっとしたことだけど、自分ではできない困りごと」を住民同士でたすけあいませんか。

現在、「担い手・支え手」となる、ボランティアを募集中です。

募集内容

- ・自分の「できること」「できる時間」での活動です。
- ・年齢・性別は問いません。

京極町 共生型 地域福祉拠点

京極町字京極223(三条通) TEL 0136-55-7061

寄付・寄贈に感謝いたします

【期間】3月～5月

【寄贈】 藤岡 サダ子様 前田 淳子様 安保 勉様 有末 義美様

【寄付】 佐藤 幸子様より、京極町の福祉の為として
 赤木 市男様より、母の故 赤木 タキ子様の生前のお礼として
 高木 智美様より、京極町の福祉の為として
 板谷 重子様より、京極町の福祉の為として
 関 伸彦様より、叔父の故 関 作治様の生前のお礼として
 竹内 一夫様より、妻の故 竹内 タイ子様の生前のお礼として
 酒井 憲幸様より、父の故 酒井 幸二様の生前のお礼として
 小野寺 ひとみ様より、夫の故 小野寺 利博様の生前のお礼として

